

# 岩宇地域公共交通活性化協議会

令和5年4月11日設置

岩宇地域  
(共和町・岩内町・泊村・神恵内村)

## 概要

岩宇地域は北海道の道央圏、後志管内の北西部積丹半島の西部に位置する岩内町、共和町、泊村、神恵内村の4町村全体の地域名で、岩内郡(岩内町、共和町)と、古宇郡(泊村、神恵内村)から由来しています。総面積575.58 km<sup>2</sup>のうち、北方は積丹半島の山々、南方はニセコ連峰の山々に囲まれ、西方が日本海に面している自然環境に恵まれた地域です。また、地域の大部分が山地となっているため、4町村間を移動できる道路は海岸沿いの国道229号のみとなっています。

### ○地域公共交通の現況

・JR函館本線(小沢駅)・北海道中央バス(株)(地域内2路線)・ニセコバス(株)(地域内2路線)・とまり循環バス、いわない循環バス・スクールバス(共和町8台、泊村2台、神恵内村1台) ほか

### ○地域公共交通の課題

・中央バス神恵内線廃止方針に伴う代替交通  
・交通サービス維持のための財政負担  
・継続的な利用者の減少及び各事業者における運転手不足

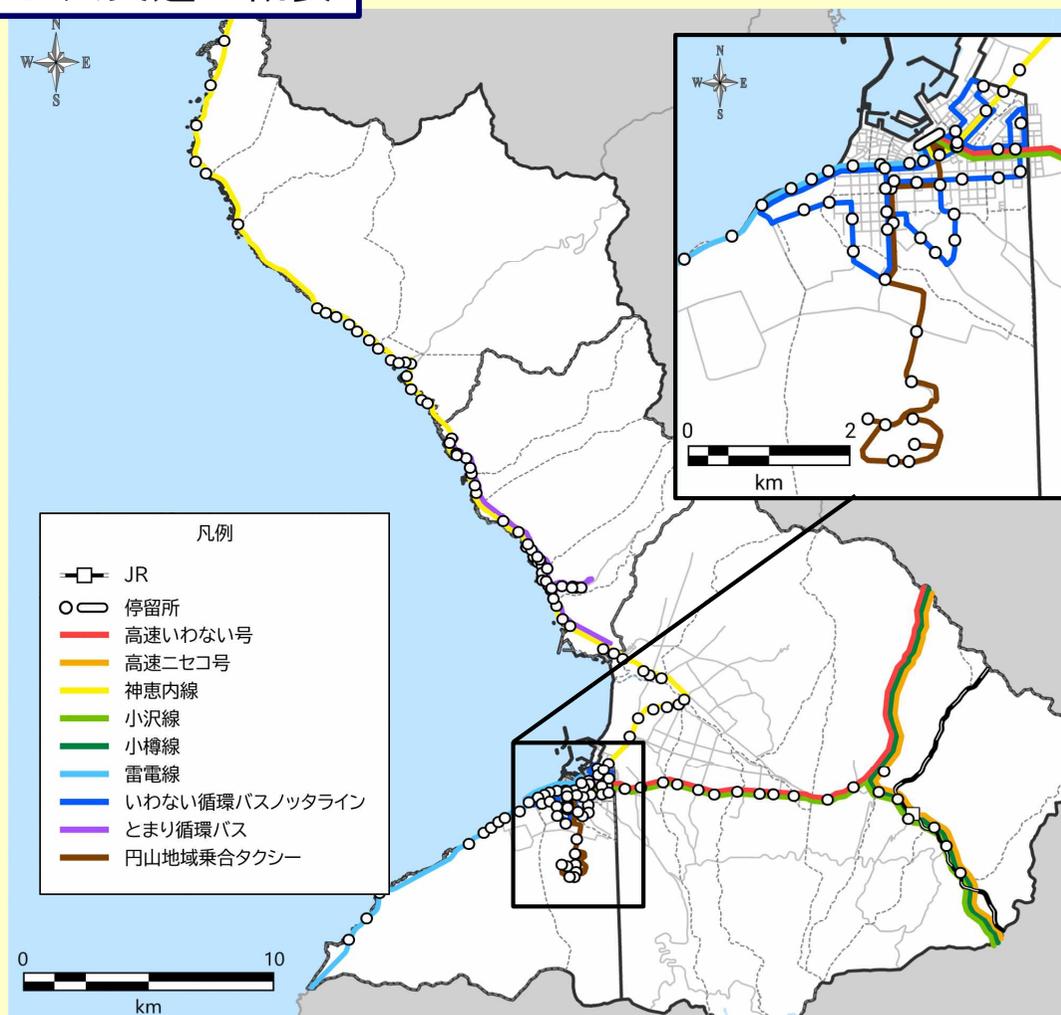
### ○調査の主な内容

・現況実態調査  
…中央バス神恵内線に係る乗降調査の実施  
・住民意向の把握  
…地域住民のニーズ調査(アンケート調査、意見交換会)  
・公共交通計画(案)のとりまとめ  
…地域にとって望ましい代替交通のあり方

### ○地域公共交通活性化協議会開催状況

4月11日 協議会設立、第1回協議会を书面開催  
・協議会の設立及び役員を選出について  
7月3日 第2回協議会を開催  
・代替交通検討に係る各種事業の実施について ほか  
11月27日 第3回協議会を開催  
・各種調査の結果について、代替交通の方向性について、  
地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について ほか

### 公共交通の概要



# 岩宇地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### ○現況実態調査

#### (1) 神恵内線乗降調査

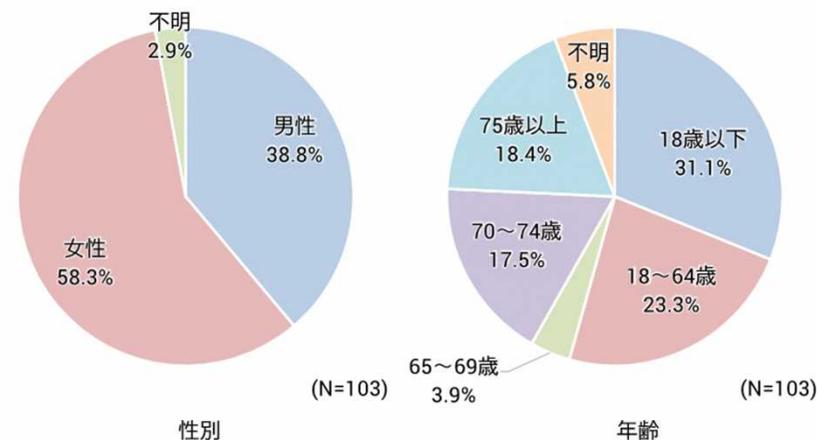
神恵内線の利用実態の把握のため、乗降調査を実施した。神恵内線の利用者数のほか、利用者の乗降前後の乗り継ぎ状況などを確認。結果概要については以下のとおり。

カウント調査結果から、平日の利用が多く、朝方の岩内行が利用されており、1便当たりの乗車人数は7.7人/便。

アンケート調査結果から、65歳以上の利用が約4割、18歳以下の利用が3割程度を占め、目的は通勤・通学が約4割、買い物や通院がそれぞれ3割前後となっており、免許非所持者の利用が多く、神恵内村民、泊村民の免許非保持者の生活の足及び通学路線として主に利用されていると考えられる。

さらに、利用者の免許の非所持率が約6割と高くなっており、普段送迎してくれる人はいないと回答した方が約4割となっていることから、利用者の依存度が高い路線であると考えられます。

アンケート調査結果



免許の保持状況

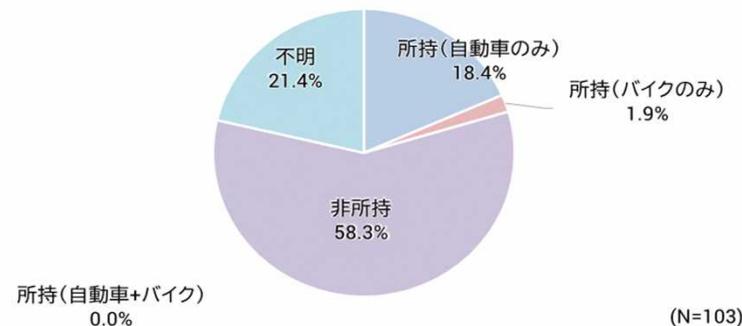


図 5-5 免許の保持状況

■カウント調査の結果

路線名	発地	着地	平日合計			休日合計			総計(人)
			発時刻	乗車人数(人)	小計(人)	発時刻	乗車人数(人)	小計(人)	
神恵内線	岩内ターミナル	神威岬	7:50	5	34	-	-	29	68
			12:40	10		12:40	20		
			16:10	7		16:10	4		
			18:10	4		18:10	5		
			20:10	8		-	-		
	神威岬	岩内ターミナル	6:12	19	43	-	-	39	
			7:54	11		7:54	16		
			9:16	8		9:16	15		
			14:31	0		14:31	8		
			17:36	5		-	-		

### ポイント

- ・神恵内村民、泊村民の生活の足及び通学路線である
- ・乗降は岩内ターミナル・十字街に集中
- ・免許非所持率、送迎者がいない人が多く利用していることから、利用者の依存度が高い

# 岩宇地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

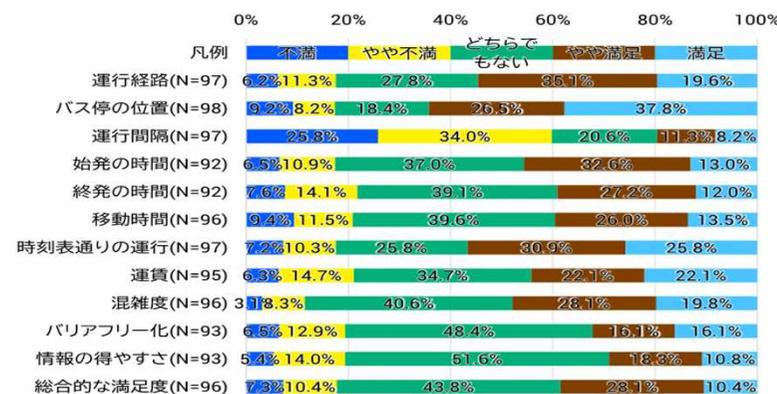
### (2) 沿線住民アンケート調査

神恵内線の乗降調査の他、沿線住民へのアンケート調査を行った。神恵内線の利用状況やサービス満足度のほか、代替交通検討に係る運行希望時間帯や運賃などを調査項目として設定し実施。結果概要については以下のとおり。

#### ・神恵内線の利用状況について

神恵内線について、9割以上の方が認知はしているが、そのうち2割強しか利用に至っておらず、利用についても月1・2回程度の利用と答えた方が多いことから、毎日多くの利用は見込めない状況。

サービス満足度については、運行間隔の不満が多い。



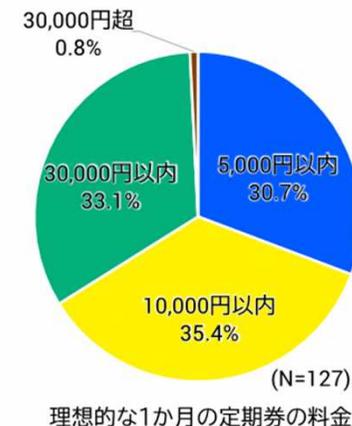
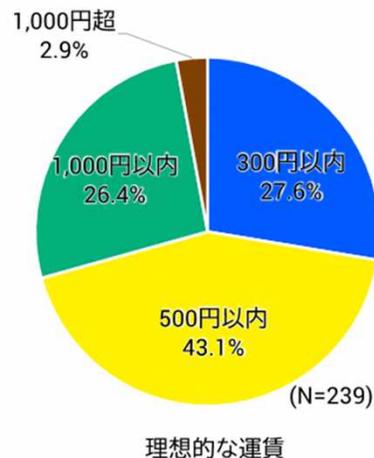
神恵内線のサービスの満足度

#### ・代替交通のサービス水準・広報について

運行時間帯については8-10時台の運行希望が多い。運賃については1,000円を超える意見がごく少数であったことから、1,000円以内の運賃が求められている。

また、定期券については、5,000円、10,000円、30,000円でほぼ同数ずつとなっている。

広報については、時刻表等の配布物が望まれており、その他に自治体の広報、自治体のホームページによる広報が高くなっている。



# 岩宇地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

### ○岩宇地域公共交通計画策定方針

#### ■地域公共交通の現状・問題点

- ①神恵内線の沿線地域の人口カバー率は72.0%
- ②神恵内線が廃止になると神恵内村は公共交通カバー率0%
- ③神恵内線は2024年9月末廃止の方針
- ④神恵内線の輸送人数は減少傾向
- ⑤運転手の高齢化・運転手不足が深刻
- ⑥沿線自治体が神恵内線に対して43.6百万円補助
- ⑦岩内ターミナルにて神恵内線から札幌、倶知安、寿都方面のバスに乗換可能
- ⑧泊村、岩内町、神恵内町では神恵内線から町村内交通に乗換可能
- ⑨神恵内村、泊村では公的資金投入額に対する神恵内線補助の割合が高い

#### ■各種調査結果から見た現状・ニーズ

- ①神恵内線は神恵内村民、泊村民の買い物・通院等生活の足・通学に利用されている
- ②神恵内線利用者は免許非所持率が高く、送迎者がいない人が多く利用している
- ③自家用車を利用している人は免許返納の意思がない
- ④神恵内線沿線住民は泊村に通勤、岩内町に買い物・通院している
- ⑤認知度は高いが、利用はされていない状況
- ⑥高校生は朝の始発便を利用、通院は月1、2回程度
- ⑧送迎がない生徒はバス時刻に生活を合わせており、不満は少ない
- ⑨バス停までの徒歩時間・待機時間は10分以内が望ましい
- ⑩運賃は1,000円/回以内が望ましい
- ⑪広報は紙の配布物が望ましい
- ⑫バス停を岩内高校に近づけてほしいというニーズがある
- ⑬休日の部活・アルバイトに間に合う便へのニーズがある
- ⑭待機場所の整備（雨風をしのげる、電源がある等）ニーズがある

基本  
方針

岩宇地域をつなぐ  
人にやさしく持続可能な公共交通の実現

#### 基本目標1 岩宇地域をつなぐ輸送支援体制の構築

- 施策① 岩宇地域を縦貫する公共交通の確保
- 施策② 町村内と広域の公共交通ネットワークの連携
- 施策③ 免許返納者にも優しい公共交通網の改善

#### 基本目標2 交通拠点等の継続的な移動円滑化

- 施策④ 待合スペース、バス停等の維持管理の改善
- 施策⑤ バリアフリー化による移動支援
- 施策⑥ ICT技術を活用した安心な待合拠点の構築

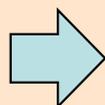
#### 基本目標3 地域連携により守り育てる移動の確保

- 施策⑦ 公共交通の分かりやすい情報提供
- 施策⑧ 環境配慮視点での利用促進の実施
- 施策⑨ まちづくりとの連携による運転手不足への対応
- 施策⑩ ICT技術を活用した効率的な運行の実現
- 施策⑪ 災害に強い公共交通体系の構築

# 岩宇地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

- |                           |                                   |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 施策① 岩宇地域を縦貫する公共交通の確保      | ⇒神恵内線の代替交通の維持・確保、通学者・高齢者への支援      |
| 施策② 町村内と広域の公共交通ネットワークの連携  | ⇒各町村における移動支援策と神恵内線代替交通との連携強化      |
| 施策③ 免許返納者にも優しい公共交通網の改善    | ⇒免許返納しても移動しやすい目的地や運行時間の検討         |
| 施策④ 待合スペース、バス停等の維持管理の改善   | ⇒岩内ターミナルや各バス停の快適性や除排雪の改善          |
| 施策⑤ バリアフリー化による移動支援        | ⇒車両のバリアフリー化や人的支援の検討               |
| 施策⑥ ICT技術を活用した安心な待合拠点の構築  | ⇒デジタルサイネージ、バスロケーションシステムによる情報提供    |
| 施策⑦ 公共交通の分かりやすい情報提供       | ⇒時刻表・バスマップ・運賃表・バス乗り方など分かりやすい情報提供  |
| 施策⑧ 環境配慮視点での利用促進の実施       | ⇒公共交通の利用によって環境にやさしい行動への変容を促す      |
| 施策⑨ まちづくりとの連携による運転手不足への対応 | ⇒広域連携による運転手の受け入れの取組と移住・定住促進       |
| 施策⑩ ICT技術を活用した効率的な運行の実現   | ⇒ICカードの導入、MaaSの推進などによる効率的な管理体制の構築 |
| 施策⑪ 災害に強い公共交通体系の構築        | ⇒災害発生時の公共交通体制の構築                  |



### 評価指標 数値目標

○神恵内代替交通の利用者数 ○代替交通の岩宇地域の公的資金投入額 ○代替交通の収支率  
※数値目標精査中

## ●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・複数地域全体の地域公共交通計画を策定するのは調整に労力を伴うが、区域内の状況を踏まえつつ、計画を確実に策定いただきたい。
- ・なお、その際には、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。